HCL information

「抗酸菌群核酸同定(DDH)」検査受託中止 及び 代替項目のご案内

拝啓
　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
　このたび、検査委託先より下記検査項目を中止するとの連絡がございました。
弊社とおきましても、やむを得ず下記日程にて検査受託を中止させていただきますのでご案内申し上げます。
　先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

●中止実施日　：即　　日

●中止項目　　：抗酸菌群核酸同定精密検査（DDH）

●中止理由　　：委託先による中止

●外注先　　：LSIメディエンス

●代替項目　　：抗酸菌同定《質量分析法》
　　※裏面参照

株式会社　兵庫県臨床検査研究所
本社　TEL：079-267-1251　　神戸西支所　TEL：078-929-0492
岡山　TEL：086-952-5218　　神戸東支所　TEL：078-252-7315

抗酸菌同定《質量分析法》

結核菌は塗抹検査や小川培地による培養・同定検査に始まり、現在ではPCR法やDNA-DNAハイブリダイゼーション法（DDH法）などによる遺伝子学的検査も多く用いられています。しかし現在、抗酸菌属は170種以上あるとされているうち、検出可能なのはPCR法で結核菌群やMACを含め数菌種、DDH法でも18菌種にすぎません。

本検査はMALDI-TOF MS（マトリックス支援レーザー脱離イオン化-飛行時間型）技術を用いた質量分析法により、細菌のもつタンパク質をイオン化し、マススペクトルパターンから菌種を同定するものです。本法では159菌種の抗酸菌を高感度・高精度に同定することが可能であり、ヒトに病原性を持つものを始めとし、ほとんどの菌種を網羅的に検出することが出来る画期的な検査法です。

結核と非結核性肺抗酸菌症では治療法なども異なり、さらに非結核性肺抗酸菌症の中でも起因菌により抗菌剤の選択にも差異が生じます。したがって本検査により起因菌を正確に同定することは、治療計画を立案するために大変有用な検査と考えらています。

なお、質量分析法による抗酸菌同定検査は「結核菌検査指針2007」から9年振りに改訂された「抗酸菌検査ガイド2016」にも掲載されています。

【検査要項】

検査項目名	抗酸菌同定《質量分析法》
項目コード	2460
検査材料/保存方法	培養陽性判定後の増菌（3～4週間）菌株 / 常温
検査方法	質量分析法
所要日数	2～6日 *同定検査に要する日数です。増菌培養の日数は含まれません。
実施料	370点（「D021」抗酸菌同定）
判断料	150点（微生物学的検査）
備　考	1.検査方法、培地数にかかわらず、1回のみ所定点数を算定します。 「MAC核酸検出」と併せて実施した場合は、主たるもののみ算定できます。